

# 欧州における周波数有効利用施策に係る動向調査 概要

## 調査の目的

近年来、スマートフォン等の流行によって、通信量の急激な増大が懸念されており、限りある周波数の有効利用が世界各国で重要視されている。現在、NICTでは周波数有効利用に係る研究開発を実施しており、その実施に際して参考となるよう、欧州における周波数有効利用施策に係る最新動向を調査した。

## 報告書のポイント

本報告書では、欧州における周波数有効利用施策について情報収集するために、以下のポイントを中心に調査した。

また、欧州委員会の情報社会・メディア総局、欧州の研究機関（仏テレコム・パリテック）、マイクロソフトの英国支社で、ヒアリング調査を実施し、これらのヒアリングの議事録を同報告書に収録した。

1. 欧州におけるコグニティブ無線技術及び超広帯域無線技術（UWB）利用規制政策の最新動向
  - ・ 欧州連合のコグニティブ無線技術利用政策の動向
  - ・ 英国におけるコグニティブ無線技術利用政策の動向
  - ・ 欧州連合の UWB 決定の概要
  - ・ 欧州主要国（英仏独）における UWB 技術の規制法整備動向
2. 欧州におけるコグニティブ無線及び超広帯域無線（UWB）技術の研究開発の動向
  - ・ 欧州連合の第7次枠組計画におけるコグニティブ無線及びUWB技術の研究開発動向と研究開発事例
  - ・ 欧州主要国（英仏独）におけるコグニティブ無線技術及びUWB技術の研究開発動向
3. 欧州における周波数オークションの動向
  - ・ 欧州諸国における第3世代移動通信技術向け周波数オークションの実施動向
  - ・ 欧州主要国における現行のオークション制度の概要と第4世代移動通信技術向けオークションの最新動向

## 調査実施期間

平成23年11月～平成24年2月

2012年2月29日  
NICT 欧州連携センター